

### 3. 富士川游 “醫箴” “醫五不可” の心を 現代医療に役立てる

桑原 正彦

広島県安佐医師会／生命倫理・富士川游顕彰委員会

#### 1. はじめに

富士川游先生は、慶応元（1865）年5月11日、現在の広島市安佐南区長楽寺に生まれた。父（雪）も当地の開業医であり、江戸、長崎で瘍科を治め、明治9（1876）年、奨進医会を創立した。

先駆的な業績のある医家の環境で育った游先生は、地元の沼田小学校、開成舎、広島県師範学校予備科、浅野学校、広島県立広島中学校を経て、明治14年、広島医学校に入学した。明治20年同校を卒業と同時に上京、中山文化研究所に入社した。その後の活躍については、多くの文献があるので割愛する。

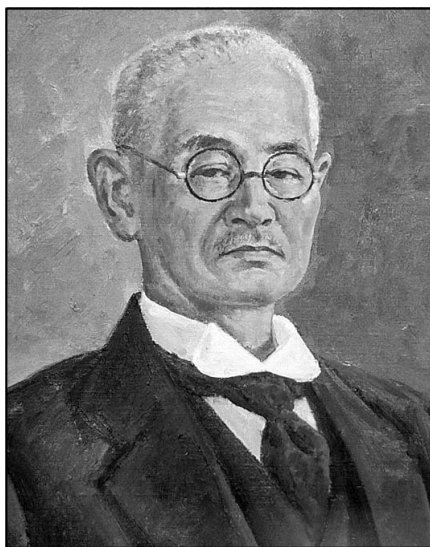
社団法人安佐医師会は、正に、この安佐南区と安佐北区のエリアで地域医療に従事する医師の会である。現在556名の会員で構成している（平成24年4月）。

平成16年度から安佐医師会は、会内に「生命倫理・富士川游顕彰委員会」を立ち上げて游先生の遺徳を偲び、先生の心を現代医療に生かすための活動を開始している。

広島市内2か所にある顕彰碑（広島大学霞キャンパスと生誕地長楽寺）と記念碑（安佐医師会館）の清掃、命日の墓参、富士川游記念講演会の開催、数多の著作の学習会の開催などが、その主な活動である。

#### 2. (社)安佐医師会の富士川游顕彰事業

富士川游先生の2か所の顕彰碑は、昭和50年8月9日に建立された。これは富士川游顕彰会（故原田東岷会長）が没後36年を記念して、「富士川游展」（同年8月15日－19日、広島そごうデパー



富士川游先生

ト）の開催、冊子「富士川游先生を偲んで」（安佐医師会）の刊行など、一連の事業の中で行ったものである。

富士川游先生は、昭和15年11月6日、鎌倉で没した。安佐医師会・顕彰委員会では、命日に当時の菩提寺であった徳心寺（広島市西区）の住職（藤 丹青師）をお招きして墓参をし、先生の遺徳を偲んでいる。

さらに、記念講演会も年1回開催している。近年は日本医史学会・広島支部、医療と倫理を考える会・広島と共催して、近代医療と生命倫理についての学習をしている。

また、顕彰委員会の委員を中心に、富士川游先生の著書等について輪読会を毎月一回開催し、8年が経過した。現在の指導者は、狩野充徳先生（広島大学名誉教授）である。難解な古文、漢文

の解説の指導を受けて、富士川游先生の思想に迫ろうとの心意気である。

### 3. 「醫箴」について

「醫箴」は、昭和10(1935)年に富士川游先生が、“医の心”を世の医療人に問うた短編であり、15項目から構成されている。特に、その注釈は古今東西の文献を集めて、極めて精緻、かつ多項目である。先生が明治31~33年、イエーナ大学に留学された際に蒐集された貴重な資料等が数多く収録されている。

### 4. 「醫五不可」について

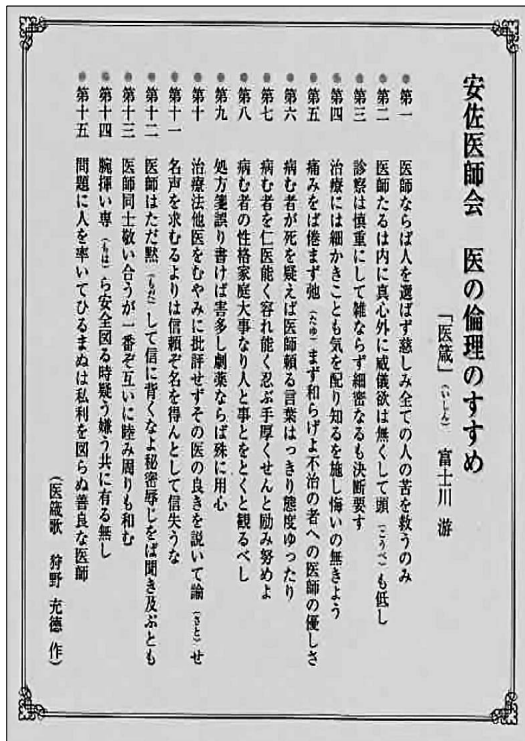
「醫五不可」は、出典が判然としないが、大空社「伝記叢書」の『富士川游』の冒頭にその写真が掲載されている。富士川游先生が過去の医師の中で最も欽慕する杉田玄白の「養生七不可」などに摸して、医人の心構えを世に問うた文章であり、5項目からなっている。注釈はない。

その全文を下記する。

関防印一類  
 今之為醫者有五不可焉。  
 偏重學問而太拙治術、一不可也。  
 其體缺誠敬而威儀常不備、二不可也。  
 見利得而忘仁愛、輕性命而寡惻隱、三不可也。  
 厚富貴而薄貧寒、蔑卑賤而憚權貴、四不可也。  
 巧言銜技、饒舌詆毀、迎合以偷人功誇己德、五不可也。  
 若忽之、不反省、其不可也、將不除。何以惠人濟生云哉。  
 昭和十四年春 子長學人 落款印二顆

### 5. 富士川游の“心”を現代医療に役立てる

わが顕彰委員会では、2年間かけて「醫箴」の解説をおこなった。しかし、漢文訓読調で書かれた内容を、医師会内でうまく理解してもらえるかは、甚だ疑問である。そこで、狩野充徳名誉教授にお願いして、その心を短歌にいただいた。安佐医師会では、この短歌を公的封筒の裏に記載し、日常の地域医療において常に富士川游先生の心を忘れないよう努力している。



「醫箴」の心の短歌

今後も各種の医師会活動を通じて、富士川游先生の遺徳を後世に伝えてゆく予定である。諸先輩のご指導とご鞭撻を切望する。

#### 参考資料

- 1) 富士川游『醫箴』東京、克誠社、昭和10年、富山県立図書館蔵
- 2) 富士川游「醫五不可」富士川游刊行会編『伝記・富士川游(伝記叢書27)』東京、大空社、昭和63年に掲載
- 3) 日本医史学会「富士川游先生没後50周年記念誌」日本医史学会、平成2年
- 4) 安佐医師会「富士川游先生を偲んで」安佐医師会、昭和51年
- 5) 岡田靖雄「富士川游先生と奨進医会——安佐医師会の揺籃期——」広島、「安佐医師会報」111号(別冊)、平成21年